

1 活動名 地方議員セミナーin 京都

2 研修の目的

(1) 本市における課題

- ・ 2015年と2045年と比較すると30年で34,940人(24.4%)の人口減少が予想され、また、本市の保有する公共施設は建設から30年以上経過した施設が、延床面積で全体の50%以上であり、近い将来更新時期を迎えることから、公共施設再配置が必要になる。
- ・ 限られた職員体制で行政サービスの効率的運用のために、AI・RPAの導入が課題となっている。
- ・ 松本市では臨時・嘱託職員が二種臨時を除いて876名おり、行政サービスにおいて非常勤職員なしには成り立たない状況にある。しかし、労働条件などの課題があり、これら非常勤職員において欠員が生じており、労働条件改善が課題となっている。

(2) 研修の必要性

- ・ 松本市公共施設等総合管理計画が平成28年度に、松本市公共施設再配置計画が平成30年度にそれぞれ作成されるなど、今後公共施設の管理運営、再編について検討が必要となっている
- ・ 新庁舎建設や職員の働き方改革、行政サービスの効率化のために、AI・RPAの導入が必要となっている
- ・ 2020年度より地方公共団体における臨時・非常勤職員制度の適正な運用を確保する「会計年度任用職員制度」が条例改正され実施されるため、この制度について熟知する必要がある。

(3) 研修項目

- ・ 指定管理者制度と公共施設の再編について
- ・ 自治体業務におけるAI・RPA導入について
- ・ 会計年度任用職員制度について

3 研修内容

(1) 日時 8月7日～8月8日

(2) 会場 京都テルサ

(3) 出席者 1名 横内裕治

(4) 内容

- ・ 指定管理者制度と公共施設の再編における議会の役割 (8/7 10:00～13:00)
- ・ AI・RPA導入で変わる自治体業務 (8/8 10:00～13:00)
- ・ 会計年度任用職員制度の円滑な導入にむけて (8/8 14:00～17:00)

(5) 成果・所感等

別紙参照

4 政務活動費

(1) 用途項目 研究研修費

- (2) 支出額 96,120円(参加費 40,000、日当 6,000、宿泊費 29,600、交通費 20,520)
×1人